



平成30年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰

表彰者のご紹介(順不同・敬称略)

3R活動推進功労(団体)

おやべしりつ いするぎしょうがっこう
小矢部市立 石動小学校

富山県

平成15年度から不要になった制服及び運動服を回収して下級生が再利用する取組を実施。卒業生が進学した中学校への回収ボックス設置や遊休品バザーの開催など回収方法を工夫。また、地域の協力を得ながらアルミ缶を回収し、地域の福祉施設や盲導犬育成団体へ寄付を行うなど地域の循環型社会づくりの中心的な役割を担っている。

いみずしりつ ほうじょうづしょうがっこう
射水市立 放生津小学校

富山県

平成7年から地域の清掃活動やアルミ缶の回収活動を実施。その活動を児童各自がまとめ、お互いの活動を評価することを通じて3Rの意識向上につなげている。また、平成18年からは、4年生の児童が、地球温暖化や海岸漂着ごみ等の環境問題について学習し、自分たちにできることを考えて「10の取組み」を設定し、その取組を家族と一緒に4週間にわたり実践している。

とくしまけんりつ あなんこうぎょう あなんひかりこうとうがっこう
徳島県立 阿南工業・阿南光高等学校

徳島県

阿南市では放置竹林が問題となっているが、平成27年に地元のNPOと連携して未利用の竹材を利用した防災懐中電灯「ぼてっとライト」を製作。これは振動センサーで点灯するもので、夜間の大地震による停電を想定したもの。地元中学校では「ぼてっとライト」の組み立てキットを技術科教材としているほか、地震で被害を受けやすい離島の全世帯に無料配布する等、地域課題の解決に取り組んでいる。

3R活動優良企業

ちゅうえつ こうぎょうかぶしきがいしゃ
中越パルプ工業株式会社

富山県

平成20年から地域の団体や企業・行政と連携して使用済み割り箸や年賀はがきを回収し、自社でコピー用紙や模造紙を製造し、地元の小中学校に寄付する活動を行っている。さらに平成25年からは、園児を対象とした環境教育を実施。また製紙工程では廃棄物燃料を積極的に使用し化石燃料の削減に取り組んでいる。

さがわきゅうびんかぶしきがいしゃ さっぽろきたえいぎょうしょ
佐川急便株式会社 札幌北営業所

北海道

これまで環境対応型梱包容器である折りたたみコンテナは企業対企業の往復利用で使用されていた。平成18年にこのコンテナを病院の入退院用の手荷物輸送サービスに活用する「ホスピタル便」を現場(営業所)から発案して始めた。この結果、段ボールの使用を年間1200枚削減できた。

3R活動優良企業

かぶしきがいしゃ
株式会社ユニバース

青森県

平成22年からレジ袋有料化による収益金を環境貢献活動として還元するため、県や市町村と連携し「資源ごみ回収ステーション」を設置する町内会等へ寄付を実施。また店舗から排出される食品残さを有効利用した食品リサイクル・ループの取組や店頭回収を実施し、3Rの推進に寄与している。

ひるまうんそうかぶしきがいしゃ いるまこうじょう
比留間運送株式会社 入間工場

埼玉県

昭和53年以来、様々なリサイクルに取り組み、最近では建築資材として使用された軽量気泡コンクリートに剪定枝や生ごみのたい肥を混合し、一般的な植栽土壌と比べ50%軽量の屋上緑化土壌を開発。ヒートアイランドを緩和する製品として幅広く利用されている。

かぶしきがいしゃ
株式会社セブン&アイ・ホールディングス

東京都

平成24年からグループのスーパーの店頭でペットボトルの自動回収機を設置。その場で異物除去・減容化した後、リサイクル会社で再生樹脂原料を製造。その樹脂はプライベートブランド「セブンプレミアム」の商品パッケージとなり再びお店で販売されている。平成30年2月での設置台数は701台。平成29年度の回収量は7千トンを超えた。

かいぶしきがいしゃ
株式会社ウィファブリック

大阪府

平成27年より廃棄予定の生地や糸を引取り、企画・デザインを施して新たな商品に再生させる事業を展開。さらに服のデットストックを抱えた企業とそれを必要とする企業とをグローバルにマッチングさせるプラットフォームをつくり服の在庫問題を解決する活動を行っている。

かぶしきがいしゃ
株式会社スーパー・フェイス

鳥取県

平成16年から環境関連機器の開発販売を開始。紙おむつの使用量の増大を見込んで、使用済み紙おむつを破碎・乾燥・滅菌して固形燃料に製造する装置を開発。固形燃料はボイラー燃料として使用可能。地元の鳥取県伯耆町での実証事業を実施し、全国の福祉施設や海外での事業展開にも取り組んでいる。